

# 土用の間日

古代中国では自然哲学の思想で、万物は火・水・木・金・土の5種類の元素からなるという考えが伝わり、現代の暦のようにも使われていました。

五行説の一部に「土用の日」という「土を休ませる日」があります。

土いじりなどをせず、畑や田んぼ・水牛などを休ませる日、という風習がありました。

土用の日に土いじりを行ったとしても、“田んぼや畑の恵みによって生かされている”という事への感謝とお礼を込めて行なう風習です。

本来の意味を把握し、日頃忘れがちな土への感謝の気持ちを抱く事が「本筋」となり、「崇り」などを恐れるのではなく、感謝する気持ちを抱く事が一番大切になります。

## 令和6年の土用の間日

冬土用	1月18日(木)～2月3日(土)
間日	1月18日(木)・27日(土)・28日(日)・30日(火)
春土用	4月16日(火)～5月4日(土)
間日	4月23日(火)・24日(水)・27日(土)
夏土用	7月19日(金)～8月6日(火)
間日	7月19日(金)・26日(金)・27日(土)・31日(水)
秋土用	10月20日(日)～11月6日(水)
間日	10月22日(火)・24日(木)・26日(土) 11月3日(日)・5日(火)

この土旺用事(土用)は土公神(どくしん・どこうしん)、18日間も作業が出来ないので都合が悪く大変です。

そこで、土公神が土旺用事の間、常に活動しているわけではなく、時々天上に戻られ、その当日は土・地面に係わる作業を行ってもいい日としました。

これを間日(まび)と言い、上記に掲示しておりますので、ご参考ください。